

(宛先) 登米市長

請求書を園に提出した日を
記入してください

施設等利用費請求書 (償還払い用)

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

【令和×年4月～令和×年4月請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。

- なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。
- 1. 申請者と認定子どもが、登米市内に居住していることを登米市が住民基本台帳で確認すること。
- 2. 実際に利用していることを登米市が対象施設を確認すること。

- 3. 利用料の支払い状況を登米市が確認すること。
- 4. 課税状況を登米市が確認すること。

「施設等利用給付認定通知書」に記載されている保護者の氏名をお書きください。

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

| | | | |
|------|-------------------------|------|-----------------|
| フリガナ | トメ タロウ | 生年月日 | 平成×年×月×日 |
| 氏名 | 登米 太郎 | 父 | 登米市南方町新高石浦130番地 |
| | ※償還払いの場合の振込先は申請者名義の口座です | 現住所 | 電話：0220-58-2111 |

2. 認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)

押印してください

| | | | |
|---|--|------|----------|
| 法第30条の4の認定種別 | <input checked="" type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号 | 認定番号 | 12345678 |
| 生年月日 | 平成×年×月×日 | フリガナ | トメ ハナコ |
| 令和×年4月1日～令和×年4月30日の間の住所 | | 氏名 | 登米 花子 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した | | | |
| 上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入 | | | 年 月 日 |

「施設等利用給付認定通知書」の内容を参照し、記載してください

3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について記入

| | | | |
|---------------------------|---|-------------|-----|
| フリガナ | ニンテイコドモエン ○○エン | 所在地 | 〒 |
| 施設名称 | 認定こども園 ○○園 | (市外の場合のみ記入) | 電話： |
| 令和×年4月1日～令和×年4月30日の間の在籍状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 期間中在籍 <input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した | | |

1.施設等利用給付認定保護者(請求者)と口座名義が同一の方が確認してください。

4. 償還払いの振込先

※異なる振込先を指定する場合は、請求の都度、委任状の提出が必要です。

| | | |
|------------|------|--|
| 金融機関名 | 預金種目 | <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 |
| ○× 銀行 信用金庫 | 口座番号 | 1 2 3 4 5 6 7 |
| ○× 農協・信用組合 | 出張所 | トメ タロウ |

※1 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は記入(※2)

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

| | | | |
|---|------|-----|-----|
| ① | フリガナ | 所在地 | 〒 |
| | 施設名 | | 電話: |
| ② | フリガナ | 所在地 | 〒 |
| | 施設名 | | 電話: |
| ③ | フリガナ | 所在地 | 〒 |
| | 施設名 | | 電話: |
| ④ | フリガナ | 所在地 | 〒 |
| | 施設名 | | 電話: |
| ⑤ | フリガナ | 所在地 | 〒 |
| | 施設名 | | 電話: |
| ⑥ | フリガナ | 所在地 | 〒 |
| | 施設名 | | 電話: |

※2 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみです。

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※3参照)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

| 利用年月 | 在籍園の預かり保育事業 | | | | 認可外保育施設等に支払った金額(d) ※3 ※4 | 請求額 ※5 (「c+d」か月額上限額の低い方を記入) |
|----------|--------------------|------|----------------------|------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| | 施設に支払った金額(a) ※4 | 利用日数 | 対象額(b) (450×利用日数) | aとbの金額の低い方を記入(c) | | |
| 令和×年 4 月 | 3,000 円 | 20 日 | 9,000 円 | 3,000 円 | 円 | 3,000 円 |
| 年 月 | 円 | 日 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| | | | | | 円 | 円 |

「特定子ども・子育て支援の提供に係る領収証」を参照し、記載してください。

「特定子ども・子育て支援提供証明書」を参照し、記載してください。

時間を含む平日の預かり保育事業の提供時間数が8時間未満の場合のみ記入が可能です。

金額」を証明する領収証(口座振替の場合は通帳コピー等の確認ができる書類等)と特定子ども・子育て支援提供証明書を添付して下さい。

※5 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円となります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入して下さい。